

2019 FIM SUPERBIKE WORLD CHAMPIONSHIP World Supersport Round 3 Motocard Aragón Round Race Report

ヨーロッパラウンドがMotorLand Aragónよりスタート。 大久保は予選9番手。表彰台を目指し全力で挑む。

今年初のヨーロッパラウンド、スーパーバイク世界選手権 (WorldSBK) Round 3 がMotorLand Aragónで開幕。表彰台まであと一歩という戦いが続く2019年度シーズン。今大会も表彰台を目指し全力で挑む。

今大会初日はあまり気温が上がらず、FP1は気温14度、路面温度24度の中スタート。大久保は後半に1分55秒509を計測し、TOPと0.5秒以内まで詰め寄り、順調なスタートを切る。FP2はあいにくのレインコンディション、チームと協議の上でリスクを回避する為にあえて走行をキャンセルし初日を終えた。

翌日の土曜日にも不安定な空模様。少しでもタイムアップを図るべくFP3もマシンのセットアップとライディングの微調整を行い、最後までチームと共にタイムアップを目指した。

そして迎えたWSSP Superpole、現地時間 午前11時40分、各マシンが一斉にトラックへ飛び出す。大久保は2周を終えた所で一旦ピットイン、セットアップを詰め直し再度アタックラップへ入る。5周目には1分54秒894を計測し、暫定5位につける。その後も果敢に攻め続けるが、力が入りすぎオーバーラン。結果、リズムを崩してしまい残念ながらタイムアップを果たす事が出来なかった。結果9番手、3列目から決勝をスタートする事となった。

■大久保 光

「今シーズンは非常に良い形で結果が残ってきました。その勢いを、このアラゴンでも再現したかったのですが、気持ち空回りして全体的に結果に結びつける事が出来ませんでした。FP1までは順調に消化出来ていたのですが、FP3ではギアのセッティング等にも挑戦した結果、全体のバランスが崩れてしまい、少しタイムを落としてしまう結果になりました。Superpoleでは、再度セッティングを煮詰め直したのですが、相変わらず路面温度が上がらなかったのでソフトタイヤを投入しました。この選択が、残念ながら私のライディングに少し合わず、切れ込む症状が発生してしまい、結果オーバーランやミスを誘発してしまい、タイムアップを図るには難しい状況に陥ってしまいました。ちょっと冷静さに欠けてしまっていたと反省しています。しかし、レースが終わった訳ではありませんので明日のレースではリカバリー出来る様に全力で戦います。引き続き、皆さんの応援宜しくお願い致します。」



Kawasaki Puccetti Racing

Website / <http://www.puccettiracing.it/wordpress/>



Kawasaki Puccetti Racing



PuccettiRacing



puccettiracing

Hikari Okubo Official Account

Website / <http://www.hikariokubo78.com/>



hikariokubo78



hikari_No78



hikariokubo78